

## 株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド  
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝  
 (コード番号:3612 東証プライム市場)  
 問合せ先 取締役 副社長執行役員 中林 恵一  
 (電話番号:IRグループコミュニケーション室 03-6887-1300)

2026年2月期 (2025/3/1~2026/2/28)		上期							下期						通期	
		3月 Mar.	4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	1H	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上	※1	98.7	95.0	100.0	97.8	101.2	102.0	99.0	92.8	102.2	102.2	107.0	102.8	110.9	103.1	101.1
店舗売上	※2	98.8	95.3	100.9	97.5	101.3	101.8	99.1	93.0	103.2	104.4	108.5	109.5	111.7	105.3	102.3
既存店売上	※3	98.1	94.0	100.1	96.5	100.5	100.2	98.2	91.4	100.5	102.1	93.0	96.3	100.7	97.2	97.8
Eコマース売上	※4	98.7	93.5	96.5	98.8	101.0	102.6	98.4	92.2	98.6	94.1	102.0	※6 84.1	108.5	95.8	97.0
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数	※2	2,270	2,298	2,299	2,301	2,298	2,284	—	2,295	2,319	2,314	2,536	※6 2,483	2,439	—	—
出店		21	31	8	3	4	4	71	18	32	5	2	0	14	71	142
退店		13	3	7	1	7	18	49	7	8	10	6	※6 53	58	142	191
M&A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	226	0	0	226	226
既存店対象店舗数	※3	1,999	2,024	2,025	2,023	2,015	1,992	—	2,005	2,037	2,052	2,098	※6 2,059	2,006	—	—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。また、通期の列においては、当月初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみ限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。

※5 2025年12月1日付の機ライトオン連結子会社化に伴い、同月度より売上前年比および店舗数の集計に同社数値を含めております。なお、店舗数内訳の「M&A」は同社の新規連結によるものです。

※6 2026年1月のEコマース売上が84.0から84.1へ、退店店舗数が52から53へ、月末小売店舗数が2,484から2,483へ、既存店対象店舗数が2,060から2,059へ修正されました。下線部をご確認ください。

## (当月の概況)

休日数(前年差)

当月  前年同月 

当月は、国内小売売上が前年同月比110.9%となり、内訳は店舗売上が同111.7%、Eコマース売上が同108.5%となりました。既存店売上は前年同月比100.7%でした。休日数の前年差はございません。

店舗販路では、春物へのフェイスチェンジを拡大していたところ、折からの気温の急速な上昇に伴い、カーディガンやスプリングコートといったアウター中心の春物の稼働が高くなり、中旬から後半にかけてプロパー販売が伸張しました。EC販路は、特に自社ECサイト「WOS」において、セレモニー企画の販促効果で春物売上が伸びたほか、下旬に実施した決算セールではコートなどの重衣料を含んだ冬物消化が順調に進んでEC売上全体を一段と押し上げました。

アイテム別では、記録的な寒暖差のなか、カラーや素材の豊富な品揃えも背景にした、気温変化に対応可能なカーディガンの高稼働が目を引きました。また、生活雑貨のステンレスマグやキャラクターグッズも根強い支持を受けました。ブランド別では、「シュールレー」や「ドレストリア」の昨対2桁伸張が象徴するとおり、「アンタイル」など主カアパレルが販売チャネルを問わず好調に転じたほか、ライフスタイル「212キッチン」やユーズドセレクト「RAGTAG」も順調でした。

お知らせ: 2026年2月期決算発表(Tdnet及びホームページでの開示)は、4月3日(金)の予定です。

## (参考: 前期実績)

2025年2月期 (2024/3/1~2025/2/28)		上期							下期						通期	
		3月 Mar.	4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	1H	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上		98.0	104.8	101.1	109.0	99.2	101.6	102.1	102.9	94.2	105.2	102.7	98.8	92.1	99.6	100.8
店舗売上		97.5	102.4	98.3	109.0	95.6	101.6	100.5	102.1	92.2	104.4	100.4	98.9	93.5	98.8	99.6
既存店売上		97.9	103.5	99.4	111.0	96.5	102.3	101.4	103.2	92.7	104.7	100.2	98.8	91.7	98.6	99.9
Eコマース売上		100.1	115.1	112.6	109.0	114.3	101.4	108.8	105.9	102.3	108.0	111.7	98.6	87.9	102.4	105.3
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,207	2,221	2,217	2,218	2,198	2,181	—	2,200	2,220	2,228	2,279	2,255	2,262	—	—
出店		30	16	1	1	7	5	60	25	20	9	3	1	18	76	136
退店		15	2	5	0	27	22	71	6	0	1	0	25	11	43	114
M&A		8	0	0	0	0	0	8	0	0	0	48	0	0	48	56
既存店対象店舗数		2,007	2,033	2,040	2,039	2,018	1,990	—	1,993	2,001	2,007	2,011	1,989	1,986	—	—